

がんばってます！！新大

Vol. 2号

発行日：平成 19 年 7 月 27 日(金)

発行：新潟大学学生ボランティア本部『ボランち。』 URL：http://www.nuvc.info/ TEL：025-262-7530 Mail：gakuserv@adm.niigata-u.ac.jp

「人のために」という一生懸命さ

十九、二十両日に刈羽村の「新潟大学中越沖地震現地サポートセンター」に派遣され、併せて現地ボランティアセンターの調整チームの一員として活動された、新潟大学業務改善推進課 阿部良一課長にお話を伺いました。

○ボランティアセンターでは、どんなことをされたのですか？

主な仕事は、被災地での情報を集めて大学事務局と連絡を取り合うこと。大学としてできることを考えることですね。災害対策本部やボランティアセンター、災害復興科学センターの先生方の動きや情報をキャッチしていました。それらを集めて、現場から見て大学として支援できることを大学事務局へ提案しました。そして、大学事務局の意見も反映した提案を災害対策本部へフィードバックしました。

○今回の活動を通してどんなことを感じられましたか？

一番感じたことは、皆さんの一生懸命さですね。「人のために」という一生懸命さを感じました。

ボランティアセンターのスタッフとして活動しましたが、ボランティアが安心して活動できるのは、そういったスタッフの苦労があつてこそだと感じましたね。

○ボランティアセンターのスタッフとして活動する上で、どんなことには気がつきましたか？

ボランティアだからと言って、善意の押し売りをしないことですね。それから、交代で入るスタッフがスムーズと入れられるような環境づくりです。

ただ顔を出していると捉えられてしまうのは残念ですから、大学としてできることを提案したいと思って活動していました。

○最後に、学生や大学に居る人に伝えたいことはどんなことですか？

ボランティアだから強制はしないけれど、一度行ってみても良いと思います。自分が被災したときの心構えをつくれるということもありますが、誰かが一生懸命やっている姿を見ることは大切ですから。純粋に「困っている人を助きたい。」という気持ちが大切なんではないでしょうか。今回は仕事という部分もありましたが、「ボランティアに参加したい」という純粋な気持ちもありました。7・13水害や中越地震のときにも三条、長岡に行きましたし。今回もボランティアに参加したいと思っていましたから。

それから、「ありがとう」という言葉を素直に受けとること。これも大切だと思います。

(聞き手)新潟大学学生ボランティア本部

中井美紗(法・4)

災害ボランティア相談受付中

現在、新潟大学学生ボランティア本部『ボランち。』では、新潟大学の学生に対して、災害ボランティア相談受付を行っています。災害ボランティアをやりたい、どのようなものなのか様子を知りたいなど、ボランティアに関する相談も随時行っています。

被災地では、若い力が必要とされています。学生の皆さん、次はあなたの番です！

【災害ボランティア相談受付カウンター】
新潟大学総合教育研究棟2F 学生談話室内
受付時間…8時30分～18時30分

*土日は12時30分～となります。



業務改善推進課 阿部良一 課長

現地では、調整チームとして活躍されました。